

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

玉置 知巳

1. 授業の概要(ねらい)

この演習では、急速な発展を遂げるアジアの「今」に焦点を当てます。アジア経済に関する基礎知識と時事問題への理解に加えて、アジアへの日本企業の展開を特定産業・特定国に焦点を当てて深堀していくなど、身近なテーマを親しみやすい切り口でアジアに対する理解を深めていきたいと思います。

前期では、テーマの設定、企画書の作成、問題意識の絞り込み、方法論の策定、スケジューリング、取材のためのプレゼン資料の作成、現場への取材、などを行います。後期では、レポートの作成、レポートに基づいたプレゼン資料の作成、プレゼンテーションの実施、などを行います。できれば、成果についての対外発表の機会を求めたいと思います。加えて、1年間を通じ、和英の経済の記事などを読んでいくことで、アジア経済に関する時事問題に精通することを心がけます。

2. 授業の到達目標

①アジア経済の基礎知識を身につけること、②アジア経済の時事問題について理解を持つこと、③調査・研究活動を通じて各ゼミ生が成果物を作成こと、④社会人となる準備期間として基本的なコミュニケーションスキルなどを身につけること、を到達目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

上記2.の目標の①と②は理解度チェックを実施、③はプレゼンテーション資料の内容、④は平常点で、それぞれ評価し、その合計で総合評価します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

後藤健太 アジア経済とは何か 中公新書

5. 準備学修の内容

前回の演習の復習・課題の準備を行うことで、次の演習に備えてください。

6. その他履修上の注意事項

日ごろから、アジアに関する関連報道などに関心をもって接するように心がけましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 (以下の授業内容は、例示です)グループ別自主研修報告(その1)
- 【第2回】 グループ別自主研修報告(その2)
- 【第3回】 グループ別自主研修報告(その3)
- 【第4回】 報告書ファーストドラフトの発表とフィードバック
- 【第5回】 報告書セカンドドラフトの発表とフィードバック
- 【第6回】 報告書ファイナルドラフトによるゼミ内発表会
- 【第7回】 対外用プレゼン資料の作成とフィードバック(その1)
- 【第8回】 対外用プレゼン資料の作成とフィードバック(その2)
- 【第9回】 対外プレゼンの反省と改善
- 【第10回】 レポート、プレゼン資料、体験報告のファイナル版作成(その1)
- 【第11回】 レポート、プレゼン資料、体験報告のファイナル版作成(その2)
- 【第12回】 レポート、プレゼン資料、体験報告のファイナル版作成(その3)
- 【第13回】 レポート、プレゼン資料、体験報告のファイナル版作成(その4)
- 【第14回】 Wrap-up
- 【第15回】 総括